

技術のおたずねにこたえて

【おたずね】 納入後2年になるラワン材の建具（押入戸，ドア）に虫が発生しました。製材後7～8ヵ月天然乾燥して使っておりますが、どのような対策が必要でしょうか。

（M工場 H生）

【おこたえ】 おたずねの様子から発生した虫は、乾燥したラワン材，ナラ材（白太部分）を好んで食害するヒラタキクイムシと判断されます。

この虫の被害の発見は成虫になったヒラタキクイムシが、材中から抜け出すときに、木粉を材の表面に出すことによるのがほとんどです。そのときにはすでに材のかなりの部分が食害されている場合もあります。

材から抜け出した成虫の寿命は20日程ですが、この間に木材の表面から2～6mmの探さのところに卵を産みつけます。そのため周りにラワン材

やナラ材で作った家具などがあれば、それらに被害の広がるおそれがあります。また卵から幼虫、さらに成虫となって一生を終るのに、2年もかかる例があるので、おたずねのような場合もあるわけです。

対策としては、木材の防・殺虫剤として市販されている「クロルデン乳剤」を、刷毛塗りする方法が良いでしょう。そのときに虫の発生した木材だけでなく、周りの被害を受けるとされる木製品にを塗布しておくことが必要です。

また、未加工で残っている木材にも防・殺虫の処理をしなければなりません。この場合は撒布が可能ですから、クロルデン乳剤を撒布すると良いでしょう。

なお、天然乾燥に使っている場所や、その周りにヒラタキクイムシが住みついている可能性もありますので、ここにもクロルデン乳剤を撒布しておきます。

（林産試 技術科）

新聞の広告

月正は部厚い新聞が来る。今年の新道新は九六頁であ

った。広告が沢山あった。今年には休みが多かった。ひまつぶしに広告の内容を紙面の面積で分類してみた。

この内の十二％は名士の名前だけの新年挨拶であった。

広告は景気の鏡と云うこともあるので、新年挨拶を除いた分を、電話帳の十九業種に分類してみた。はデパート・日用品雑貨類の二五％、以下は十％以内で、は飲食料品と製造、は木竹材・家具・建設、は飲食店・旅館、は不動産・サービス品の順で、これら五種で全体の五八％あった。

林産業に関連ある業種はとに含まれるが、その内訳は宅地不動産五％、住宅販売四％、建設工事二％、家具一％となり、住宅関連は全体からみてもかなりを占めていた。しかし、出荷金額が家具の四倍もある木材・木製品製造は〇・二％しかなく、最終製品をもたない産業は消費者と距離があるためなのか？もつと木の良さのPRがあつてもよいなあと感ずるところがあつた。

昭和七五年のはなし

最近「西暦二〇〇〇年の地球」という本が話題になっている。少し拾い読みしてみた。

人口では、昭和五〇年の四億人が六三億人となるが、特にアジア・太平洋地域の開発途上国は世界の五七％に達する。原木供給地域が含まれるアジアの国々は大きな問題をかかえて来そうである。

驚いたのは年令別人口構成が、開発途上国と先進国ではまるで違っていることであつた。前者は裾野の広いピラミッド型になっている。底の才級を十とすると、上の七五才級の割合である。後者は幼児も年寄りもほぼ同じの円柱型で、底十に対して上は六の割合で、今後の老令化社会をまざまざと見せつけている。

食糧の必要量は昭和四五年の二倍になっている。注目されるのは世界の穀物輸出货量の五八％をアメリカが受け持つこと、日本の安全保障のパートナーとして、軍事的以上に重要な意味を持つて来そうである。

この本は人口・食糧・資源すべての面が悲観的になると予測しているが、これは我々が現在の進み方をそのまま続けた場合のこと、子孫に資源を残すために考え直させるための警鐘といえよう。

（H・S）